

あなたのご意見をお聞かせ下さい

2015年正月・40号

信条・世に媚びず・粹にとらわれず  
・言いたいことはハッキリ言おう

発行 〒583-0018  
大阪府藤井寺市西古室 2-8-13  
TEL・FAX 072-954-3312 吉田 進  
〒110-0015  
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>  
E-mail : [info@kawaraban.ne.jp](mailto:info@kawaraban.ne.jp)

# Crossing

「乱れ打ちかわら版」あらため／季刊



冬を描く(大山) 山を描く人がいた。「山に向かって言うことなし」。撮った

## CONTENTS

### 座談会「乱れ打ちかわら版」から

「Crossing」へ……………	2
驕る自公政権は久しからず……………	4
沖縄知事選で翁長さん大勝……………	4
家庭でできる健康アジアメニュー①	
ベグン・ボッタ……………オーシロカズミ……………	5
石破大臣の一面知った……………	6
加害に目をそむける傲慢史観……………	7
岩名雅記のCmジャーニー⑰……………	8
大仏師明慶、四天王像を語る……………	9

### 自然エネルギーにかける思い②

地中熱ヒートポンプへの試み……………	10
弱肉強食と不平等な資本主義……………	11
追悼 土井たか子さん……………	11
上海在住日本人見聞録②……………	12
歴史人物私談③④ 関ヶ原の裏切り小早川秀秋……………	13
世界の国と街を訪ねて⑭ 南北キプロス……………	14
私が愛した街⑫ 紀州田辺……………	15
恭子の日記①……………	16

## 座談会

## 今、何故リニューアルするのか



## 出席者

三田 栄考  
吉田 進  
三枝のんこ

三枝 長年「乱れ打ちかわら版」として発行し、一定通用してきた名前を捨てるのは惜しい気もするんだけど、「乱れ打ちかわら版」をこの度「Crossing」（クロッスイング）と改名した理由を三田さんから説明してくれる？

三田 約15年で40号を迎えたことだし、ここらあたりで気分一新、心機一転して、さらに深めていく転換点とでもいえないかな。

三枝 情報誌って単に作るだけでなく、どう配布するかによって編集内容がかなり規制されてくる。吉田さんは夜討ち朝駆けで集合住宅にも配布し、苦勞してくれはった。その努力の割に反応がないのは何たる徒勞って感じでしょ。

吉田 配布は大変やった。集合住宅のポストへ入れてたら、酔っぱらった女性に「ゴミ入れるナ」とドヤされた。しかし、「待ってました」とニコリのおばあちゃんに出合ったら、胸にストーンと落

ちた。苦勞は人を強くする。「地獄極楽この世にござる」や、一番大きな問題は4万部発行しても反応がない。その無駄に気付いた。不特定多数への配布、つまりバラマキは無駄が多すぎる。4万部をまくことは難しい。紙面のマンネリ化もあったしね。そのエネルギーをもっと凝縮し、執筆者を中心に、読む人、考える人、原稿を書く人に優先的に

我々と人情を絆（きず）にかけりや  
三葉が重たい政治の世界  
あゝワハラトビザル木から木へ

まさき、読者を不特定多数から特定多数に変えていこうという試みとして、40号を機に考え方を変えたということ。

三枝 「世に媚びず、粹にとらわれず、言いたいことはハッキリ言おう」を旗印としてきたけど、かわら版を発行することの原点、獲得したいことは何だったん？ まさか道楽じゃなかったしね。

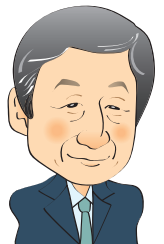




三枝のんこ



吉田進



三田栄考

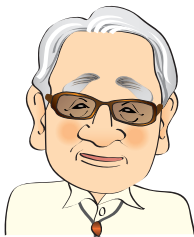
## 自由な発想と個性的視点で

三田 権力あるものにおもねるマスコミへの批判があった。世の中いろいろ問題があるのに、政治にしても変わらぬ日々体制は強固になっていく。それを支えてる、まさに選挙民であるわれわれ自身の責任だと思っけど、この菌がしりすするような思いを自分たちの活字に乗せていきたいと今でも思う。同時に、よくいわれるネットの威力を実際に検証したかったこと。ホームページにバックナンバーを掲載してたけど反応なし。私の

## 応援する読者として

## 本音という毒が足りない

楠本 まこと



うことです。それが入ると、目につきますわ。

ある人が坊さんに「食えまへんねん」と相談に行った

努力不足だった、専門家じゃなかったしね。私は自由に書いてきたつもりだったけど、一番訴えたいものを書いてなかったと思う。Crossingの名前に込めたものは人との出会い、交差、瞬時の触れ合い、そんな意味を含んでの改名と思ってもらえたら。

吉田 かわら版の一番の成果は出会い。まさにクロッスイング、交差点だったわけ。批判も受けたけど喜んでもらえるような状況もあった。ある年配の女性は新聞を一切取らないけど、かわら版は隅から隅まで読んでます、必ず

配ってくださいなと声をかけてくれた。言いたいことを言おう、真実を知ろうというけどねんということ。言いたいことを言えといつても、嘘八百の中で怒ってみてもしょうがないんやから。

従軍慰安婦報道の中の朝日新聞叩きは、目に余るものがあつた。今後は言いたいことを規制せずに書いて、それに反論があれば紙面に書いてもらうコーナーも作る編集方針を取った方がいい、読者の欄みたいな交流の場所。右でも左でもまっとうなことを

ら「食えなんなら食うな」と言つたという。おれ、びっくりして(笑)。もつと導くことをいうんかと思つたら全然でっせ……。だけどそういう坊主に魅力感じましたよ。

日本と中国、韓国の歴史をもつと知るべきやないかという昨今のアジア情勢です。大事なことは何が真実やということでしょう。その辺も視野にいろんな試みしはつたらどうでつか。

言ってるなら紙面上で喧嘩してくれと間口を広げてね。もちろん反社会的な、差別的なことはあかんけどな。

三田 40号で改名したのはマッネリを打破しようという狙いも大きいね。体裁も読みやすくしたいし。言いたいことをハッキリ言って権威に追従しない独自のポリシーを貫きたいもの。編集する側の見識も問われるよ。言つてはならないこともある。どこまでよしか、どこから否かでしょうか、どこから否かでしょうか、品性を疑うようなもの、人を貶めるものは排除しよう。本当に伝えたいものを持つ文章か否かはチェックしなきゃ。学生時代の同人誌を原点にして、配布はその延長上で考える、つまり執筆する人が友人なり周囲に配布する体制にして、執筆者には一定数をまいてもらい広げてもらい、育てていきましよう。

三田 自由な発想と個性的な視点で、読者に何かを考えてもらうきっかけとなれば幸いやね。話は尽きないけどまたこれから出会う人たちへの願いも込めながら、こちらでしめましよう。

## 驕る自公政権は久しからず アベノミクスは必ず破たん

師走選挙の結果が出た。自公政権は衆院で3分の2をこえる326議席を占め、反対に野党は149議席と伸びなかった。

安倍首相の電撃解散と、「この道しかない」一本ヤリの絶叫が、集団的自衛権や原発再稼働、社会保障などの重要課題の争点を隠した。また野党第一党の民主党などが全選

## TOPICS

の民主党などが全選

昨年11月16日の沖縄県知事選で、「辺野古へ新基地は造らせない」と訴えた翁長雄志さん（64）が、同基地推進で3

選をめざした仲井真弘多知事に10万票の大差で当選した。地元は「オール沖縄」「イデオロギーよりアイデンティティ」の勝利として喜んだ。選挙前の11月9日、大阪で「戦争あかん、基地いらん」

## 沖縄知事選で翁長さん大勝 辺野古新基地は造らせん

挙区に立候補者を立てず、アベノミクスへの批判票を吸収できなかったことも敗因の1つで、「誰に入れたらよいか、分からん」という自民反対者が多かった。それは自民党と対決姿勢を明確にした共産党の大躍進と、戦後最低の投票率だったことから明らかだろう。

さて、そのアベノミクスだが、安倍首相は「金融緩和をすれば円安となり輸出産業が儲かる。そうすれば企業設備投資や賃金上がり消費が増え経済が活性化する」と

の集会があった。そこで講演した安次富浩さん（沖縄ヘリ基地反対協議会・共同代表）の話を以下、要約した。

去年オール沖縄として41市町村と同議会議長が連名で「辺野古に基地移設をさせない」「オスプレイ配備撤回」要求の建白書を安倍政権へ届けたが、彼らは「請願」の形でしかとらなかった。また4・28サンフランシスコ講和条約の日を主権回復の日としたが、27年間にわたる米軍植民地支配無視のウチナン

という風が吹けば桶屋が儲かる。式だったが、そうは問屋がおろさなかった。

彼のいう1本目の矢（大胆な金融緩和）で急激に円安（1ドル＝79円→119円台）、株高物価高が進み、一部の輸出大企業は「棚からぼたもち」の高笑いだが、その他大勢は「泣き面にハチ」になった。輸入産業や日本で97%を占める中小企業は四苦八苦。政府号令の賃上げも大企業だけ。それも相次ぐ物価高や消費増税で実質賃金は15ヶ月連続で減少している。ましてや



安次富さん

チュー差別政策を示した。

昨年の名護市長選挙で「海にも陸にも新基地を造らせない」とした稲嶺さんに、時の石破自民党幹事長は自民党候補の応援で「勝てば500億円の振興資金を出す」と言ったが、こんなバカ

賃上げのない労働者や年金生活者の台所は火の車だ。

政治の役割は貧富の格差を縮小することである。だが、アベノミクスの放つ矢は、社



会的弱者を射る矢で、的外れの矢だ。

安倍首相のいう「この道」とは、いつか来た道——戦争への道。争点にならなかった改憲や原発再稼働反対、賃上げ、生活向上、社会福祉の充実など闘いは、まさにこれからである。

今後、野党が選挙に勝つ手本は、今回の沖縄選挙にある。アメで心を売らなかつたウチナンチューは反基地で一致し、全4選挙区「オール沖縄」で自民党候補を引きずり落とした。闘いは今から！

議決定。その日、辺野古の基地工事着工を宣言した。従来、陸から50mを船の出入禁止区域としていたが、それを2000mに広げボーリング作業を行っている。

翁長候補は、「沖縄の基地は提供ではなく奪われたもの。返せというのは当たり前だろう」として、軍事基地は経済発展の障害物という。

「赤い自民党」といわれる彼と私たちは、共に闘っている。勝てば、翁長知事と稲嶺市長は共に米国、国連、世界へ沖縄の民意を伝えたい。





## 見た聞いた ある講演

## 石破大臣の一面知った

「Crossing」編集部



のつけから「今朝は朝刊がなかったので雰囲気わかり難いが、本日午後から突然解散風が吹き出してメール、携帯が入った。明朝の新聞がどのように報道されるか？ 我々

の商売はマスコミに動かされることが多いから」と11月10日、石破茂氏の霞山会館での講演が始まった。

政界に身を置くものならいざ知らず、我々門外漢には「何の話か」てわけで話に引き込まれた。「この2、3日励ます会に出てきたが、選挙に強い議員は騒ぎ、弱い人はうつむく。選挙は告示日に大体終わっているものだと思わ

てきたが、大量当選、大量落選が続いているのは良くない。小泉チルドレンは20%しか残らなかった」自らの政治参加の経緯、田中角栄派の職員としての下積み時代や不人気な政策も国の為にはせざるを得ないことを淡々と語られた。「2012年自民党圧勝の選挙時でも笑顔がなかった。40%の得票率で70%の議席を得たのだから、小選挙区制の良い点でもあり悪い点でもある。民主党が勝った時は『自民党は一回出直せ』の選挙だった。政権を降りたら人は来ない。党本部を貸ビルに売ろうかと思ひ、権力がなければこんなことかと身に浸み込んだ。パーティも半分の収入、役人も手の平を返し、課長級しか来ない。テレビ出演も5分の1位に。党大会に経団連会長や都知事も来なかった」。当事者の口から聞くと真実味がある。会場はシーンとしてしまった。続けてPPP、原発、集団自衛権、消費税などの必要性を悪びれることなく語る姿は、さすがは2年前の総裁選挙で党内の人氣が安倍を凌駕しただけのことはあると思わせた。私の周りには

「上から言い聞かせる口調」「あの目が」「親しみが無い」「嫌い」と言う人が多い。

## 官僚の文章は分かりにくい

安倍ほどタカ派ではないだろうが、軍事問題通だから警戒が必要と思っていた。第2次安倍内閣に「安全保障担当大臣」の要請を蹴って野に下るのも力を削がれるからか、安倍が争点隠しに使い出した「地方創生大臣」なるものを引き受けた前幹事長さんの講演がある聞いて、私もおつとり刀で駆けつけてみた。

「官僚はどうしてあんなにつまらなく書けるのかと感心する。やさしいことを難しく答えている。農林大臣の時に書類を半分にしると言ったら文字を小さくしてきよった」。講演がうまいとか面白いとかでなく、氏の立場がそうさせているのか、聞き応えのある講演で参加者も聞き入っていた。

聞き手が大学の教授とか経済人、中小企業の企業家が殆どの100人ほどの会なので話しやすかったかもしれない。気兼ねなく自分の信条を

披瀝できたのだろう。政治家への原点は、元みんなの党の創立者渡辺喜美氏の父親美智雄氏の「お前たちは何で政治家になりたいのか？ 勇気と真心とを持って真実を語りたい者が政治家になれ」の言葉だそう。その言葉に「真心と真実」があると信用したい。今回の「安倍の身勝手解散」は周辺で夏以前から練られた計画であつたらう。外遊先の安倍がそろそろ潮時と菅官房長官辺りに指示して一部マスコミにリークさせ解散風を吹かせたものだろうが、ライブでもある石破氏には伝えられていなかったようで、氏のHPには「総理は何事もおっしゃってない」「解散は総理が決めるもので我々は全力で良い成績をあげる」と正直に書かれていた。

調べてみると自民党を離党したり、太平洋戦争の誤りを反省したり、(プロテスタント故か)靖国神社参拝を否定したり、右へ大きく走る安倍首相と一線を画したり、鉄道オタクだったりの人間味を感じさせられる。氏が安倍を早く降ろして総理にならんことを期待したい。

## 安倍政権によって加速する 「加害に目をそむける傲慢史観」

茨木市議会議員 山下けいき

我々は、自民党は、安倍政権は憲法前文の平和主義、国際紛争を武力で解決しない精神に背を向けていないか



観が国家神道となり、八紘一字、大東亜共栄圏が戦争の大義名分とされました。遅れた朝鮮、中国を領導するといった思い上がりがあり日本軍性奴隷、南京大虐殺、731部隊での生体実験の残虐行為をもたらしただけです。

しかし天皇はじめ官僚や軍人が戦争時の権限にに応じてその責任を取らなかつたために、戦後70年近い今でも皇国史観や他民族への蔑視は色濃く残存し、歴史改

個人的には何の恨みもないのに相手を殺害する戦争。その戦争へのハードルを取り除く役割を果たすのが、相手の国や民衆に対する差別意識と偏狭なナショナリズムです。

戦前、日本は万世一系の天皇が統治する神の国であるとの皇国史観が国家神道となり、八紘一字、大東亜共栄圏が戦争の大義名分とされました。遅れた朝鮮、中国を領導するといった思い上がりがあり日本軍性奴隷、南京大虐殺、731部隊での生体実験の残虐行為をもたらしただけです。

個人派が跋扈し、戦争が玄関まで来る時代になってしまいました。

朝日新聞の「慰安婦」報道謝罪を機に、産経、読売、週刊誌から書店に平積みされる書籍に至るまで、反日、売国の言葉がびこり、日本軍の性奴隷制度の否定から朝鮮、中国への侵略・加害の歴史そのものがなかったようなキャンペーンがはられています。

幾つもの右翼団体が主催する「検証いわゆる従軍慰安婦展」が大阪の堺市、生駒市、高槻市で開催され、今後

も予定されています。会場には「慰安婦は売春婦にすぎない」「自虐史観書き放題の教科書」……といったパネルが限りなく展示され、被害者となつた在日朝鮮人や韓国人への蔑視、女性差別、日本の朝鮮支配を正当化しています。

茨木市長が知事に  
記念碑撤去申し入れ

私の茨木市でも同様。茨木には戦時中に大阪警備府軍需部安威倉庫が作られました。その跡地には大阪府と茨木市

が戦後50周年を記念して共同で建てた記念碑があり、「我が国は、先の戦争において多くの人命を失い、同時にアジア・太平洋地域の人々に大きな災禍と苦痛をもたらしたことを忘れてはなりません」「建設にあたっては、強制連行された朝鮮人が過酷な労働に従事させられていました」の記述があります。

この7月に木本茨木市長（維新）が銘板撤去を松井大阪府知事に申し入れました。この9月議会で私の「この記述は、働かされた朝鮮人当事者や多くの地元住民が証言している」に対して、市長は「証言は疑わしいと思う」と答弁。さらに私の「市長は疑わしいというが、どうやって検証するのか」には「市長をやめたら検証させてもらう。市議員時代よりも100倍忙しいので暇がない」と真摯なゼロの答弁でした。

このような流れは安倍政権によって加速される戦争国家への動きが作り出したものであり、これを断ち切ることができるか、総選挙の最大の焦点だったのですが。

### 聞いてんか本音酔談

「自民万歳」の師走選挙。それを苦酒の肴にした「のもうかい」新年会。A新年おめでとうB何がオメデトウや。アベノミクスの円安株高で高笑いの少数派が、大泣き多数派に勝った選挙や。その選挙マジックのタネが分からんC「景気第一」の安倍路線に惑わされたAカネのにんじんで集团的自衛権行使や原発再稼働が目に入らんかったC安倍の道は「いつかきた道」の戦争のできる道。憲法9条改悪勢力の進出が怖いB命よりカネ。のど元すざれば熱さ忘れるが人間の性。愚民選挙に希望はもてん。哀れなる子羊よAしかし、その子羊は今の政治に悶々。頼れる野党がなかった。また多くが、領土をめぐる中国の軍事行動に安倍の集团的自衛権を黙認した？B中国の「戦略的互恵関係」なんてウソ。真の有効はホンネで語り合える仲のこと。中国へ頭ペコペコの政治・財界人は信用できん。特に中国の覇権主義を黙認し、安倍の軍国主義を批判するだけの左翼じみた言動は軽い。心に通じないCそれが安倍マジックのタネ。学ぶべきは沖繩選。アメのニンジンをけり、党派のカベをこえたアイデンティティの勝利を。

時間を遡行できないならばせめてこの脚で／

## 岩名雅記の Cm ジャニー 17

—イノチを想う／今日の出来事から—

いわな まさき／舞踏家、映画監督（フランス／南ノルマンディ在住）

僕の次回長編劇映画「シャ  
ルロット・すさび」の中で使  
用させていたたく確定死刑囚  
D氏の俳句の使用をこの9月  
からD氏に依頼していたので  
すが、今日初めて展開があり  
ました。義妹の方からフェー  
スブック宛てに「手紙をD本  
人は読めないが確かに届いて

いる」と連絡をいただいたの  
です。

僕も安閑としていたわけ  
ではなく、9月27日に東京拘置  
所に手紙を送ったものの、ご  
本人がそれを読めるかどうか  
疑義があり、ほぼ一ヶ月経っ  
ても反応がなかったので半ば  
あきらめていました。そこへ  
今日はとりあえず朗報をいた  
だいたわけです。以下、義妹  
さんからのメッセージを引用  
すると――

『日本では、死刑が確定す  
ると家族以外は面会・文通  
ができなくなるため、私は  
1986年にDの母と養子縁  
組することにより、Dの妹と  
なりました。その後、明治時  
代に制定され、戦後に新しい  
日本国憲法ができて使われ  
ていた監獄法に代わる法律  
（2007年6月から施行さ  
れた被収容者処遇法／改正監  
獄法Ⅱ注・岩名）ができ、兄  
も家族以外の5人と、面会・  
文通が可能になりました。  
しかし、それ以外の人からの  
手紙などは、届いたことと名  
前は知らされますが、手紙を  
読むことはできず、当然、返  
事を出すこともできません』  
とのことでした。

モノではなく「心の交流」

ともいうべき書簡さえも封じ  
てしまうこの権力の横暴に今  
更ながら怒り心頭に発しまし  
た。もともと国家による死刑  
とは権力による個人の圧殺／  
殺人であることは論を待たな  
いでしょう。死刑は別称「生  
命刑」ともいわれますが生命  
とは天から与えられたもので

としては1981年、当時の  
ミッテラン・フランス大統領  
は議会の反対にも拘らず死刑  
制度廃止に踏み切りました。  
死刑制度を残す日本国のこの  
後進性、この理不尽こそ早急  
に解決されるべきなのに、権  
力は自分たちが不利益を被ら  
ないことに関しては数十年い  
や数百年、一考だにしないの  
です。



写真：高島史於

あり、特定の個人が個人的報  
復の為に私刑（リンチ）  
ならいざ知らず、主体が不明  
確な国家が権力の名のもとに  
死刑を行使することは自然の  
摂理に反します。現に日本と  
アメリカを除くいわゆる先進  
諸国で死刑制度は殆ど撤廃さ  
れているのです。有名な事例

「罪を憎んで人を憎まず」  
という言葉があります。死  
刑囚にとって死は権力や国  
家によって強制されるもの  
であってはならないと思いま  
す。刑死はほかの罰とは異な  
ります。ですから近年、人間  
が人間を死によって（一方的  
に）裁断することを拒否しつ

つあるのです。罪による死が  
もしあるとすれば、嘗ての仇  
討ちのように報復する方が殺  
されるかも知れないという覚  
悟のもとに罪人を討つか、罪  
を犯した者みずから任意に  
その死を選び取れるものでな  
ければならないでしょう。殺  
されることではなく自ら（欲  
びとして）死に赴くことで生  
死の境を超えるところまで生  
きる事が罪ほろぼしになる筈  
です。

今日はともかくも連絡がつ  
いたことの歓びと、権力の  
人権無視への怒りがあいなか  
ばした一日でした。義妹さん  
によればD氏から報告を受け  
て一ヶ月近くツイッターなど  
で僕の名前を検索し、やっと  
たどりついたとのことでした。  
「岩名雅記」というあまり聞  
き慣れない名前が功を奏した  
そうです。

義妹さんは次回の面会で僕  
の手紙の内容をD氏に話して  
下さるとの事。『触れ合い、  
だが触れ合う事のできない触  
れ合い』を想った今日の昼下  
がりでした。

11月1日・南ノルマンディにて



大仏師松本明慶、  
四天王像を語る

高野山が今年4月2日に開

創記念日を迎え、5月21日ま

での50日間大法会が執り行わ  
れる。その一環の中門再興に  
伴い高野山から明慶に四天王  
の制作依頼があった。小誌は  
京都西の郊外大原野の松本工  
房を訪ね明慶師にお話をお聞  
きした。多聞天、持国天の二  
天は平安後期に作られたが、  
何度も焼け現存のものは江戸  
末期の作で、これを松本工房  
で黒色の漆による古色仕上げ  
で入念に修復した。新たに高  
野山からの要請もあり、全く  
違った二天を彫ったと明慶師  
は語る。

こちらは木材の色を生かし  
た木地仕上げの対比とした。  
修復した仏像は躍動感が少な  
く肉感がないと言われて納  
得。新造仏の表面はベンガラ  
や柿渋で染めて立体感を表現  
している。確かにこれまでの  
仏像らしい色ではなく西洋彫

刻を彷彿とさせる。

仏師の心は

ルネッサンスに通じる

師はNHK番組「旅のチカ  
ラ——ミケランジェロの街で  
仏を刻む、松本明慶」出演を  
機に西洋彫刻に触れてこられ  
たそうだ。気がつく胸に大  
きなトンボが留まっている。

明慶師の創案で、「増長天は  
退却しない仏様。トンボは  
前にしか飛ばないでしょう」  
と。広目天は大きな声でな  
き存在を知らしめる作だそう  
だ。足元に踏みつけられてい  
る邪鬼も血管が浮かぶように  
臨場感を露にしている。寄木  
された3トン以上もあるカナ  
ダ産ヒバ材から彫り出し1ト  
ンくらいまで彫り刻むのだ  
が、「裸のマネキンに衣服を  
着せていくように彫る」と身  
振り手振りで語った。

そういえば2013年冬に  
ここへ来た時は、雑然とし  
た工房の高い天井に届くよう  
なノミの入った巨木が据えら  
れ、足元にはビヤ樽よりも遙  
かに大きい、大人も入れるほ  
ど内ぐりされた胴体部分が横  
たわっていた。鎧とか衣を上  
から着せているよう、留め金  
具も後から取り付けたかのよ  
うに彫るのだと袖を巻くり上



ある。設置には神経を失らし  
クレーンと人力で持ち上げて  
数センチ、数ミリ単位で動か  
して、安定位置に取り付け終  
わったら自然とお弟子さんか  
ら拍手(?)が湧くそうだ。  
ここまで来てやっと完成とい  
える。「古人は殆ど人力だけ  
なすのだから現代とは比べら  
れないほど大変だったでしょ  
う」と師は自らの体験から語る。

げて構図を解説してもらった。

4mの巨像は木をただ彫る  
だけが全てではない。設計、  
力学や機械などにも精通して  
おかねばならない。高野山の  
山奥に4トンのロングボディ  
を運ぶのも大変だ。工房か  
ら五体(胴体・頭部・両肩  
腕・邪鬼)に解体して積み込  
み、降ろすのも危険な作業で

失礼をも顧みず聞いてみた

2年半も掛けての二天像の  
お値段はどのくらいなのだろ  
う。

「このような仏師冥利に尽  
きる仕事に採算は度外視で  
す」また「この時代に生きた  
からこそ携われた大役」との

こと。山内に国宝が何体も並  
んでいる現場に臨むと「良い  
ものを造らなあかん」「多く  
の人がその前で手を合わせて  
くれたら充分」という気持ち  
だけ。採算が合うわけがない  
そうだ。そうは言われても師  
には弟子40名、家族を含めて  
100名の生活の面倒を見な  
ければならない事業家でもあ  
る。

そういえば新聞の広告でも  
仏像がよく売られています  
ね? 「殆ど中国産ですね。  
本物の良さを選ぶかどうか」  
「機械でどんどんできると楽  
ですが、みんな精魂込めての  
手仕事ですから」と。仏師と  
いえば髭をはやしてむつかし  
い顔をした……と思いがちだ  
が松本明慶師はきさくな顔を  
持つ。また上京区下長者町  
の京都府庁の近くに自作の  
150体の仏像を常時展示す  
る松本明慶仏像彫刻美術館を  
月4日間入場無料で公開し  
ている(会館日の問合わせ  
0753327974の松  
本工房まで)。  
本年4月2日の法要以降には  
非一度高野山中門で新旧四天  
王像を拝観し見比べていた  
きたい。

# 自然エネルギーにかけける思い(2)

新潟県三条市 外山 晴一

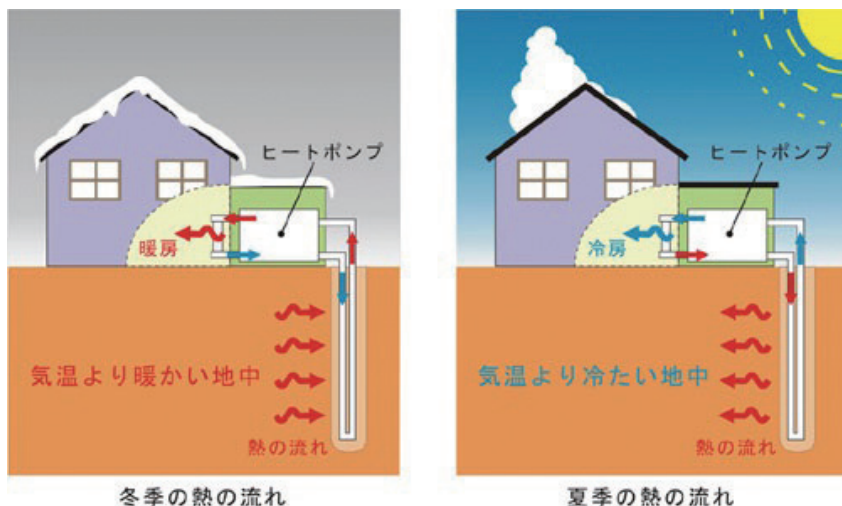
2014年9月、九州電力が10キロワット未満の太陽光を除くすべての接続申し込みの回答を保留すると発表した。その後、北海道、東北、四国、沖縄の電力4社も追従し、計5社で固定価格買い取り制度に対応する新規契約が止まった。九州電力では不安定電源である太陽光、風力の申込量が今夏の最大需要を上回る量に達した。実際はこの一部しか稼働しないと見ても、保留はやむを得ない。

今回の発表については、2012年に導入された固定価格買い取り制度の問題点が露呈したと言える。問題点とは電力会社が再生可能エネルギーを買い取る際に、その買い取るお金が消費者の電気料金から支払われる部分にある。実際に太陽光発電の普及先進国と呼ばれるドイツでは、日本が制度を導入した2012年に制度の修正法案が成立した。消費者への電気

料金の上乗せが、数十倍にまで膨れ上がったと言うことを背景にして起こった。今回は同じような状況になる前に電力会社各社が判断した。買

取っている分を遡って中止にする事は無いが、家庭用の小規模な10キロワット未満のもの以外は、新規契約をしないということだ。

地中熱ヒートポンプシステムのしくみ



冬季の熱の流れ

夏季の熱の流れ

現在、私が経営している外山工業では工場を新設中であるが、そこに地中熱ヒートポンプエアコンを設置する。年間を通して安定した10〜15℃の地中熱を利用して冷暖房するものである。従来のエアコンに比べ3分の1のランニングコスト

で、排出される二酸化炭素も半分に抑えられる地球環境に配慮した製品である。

一昨年に作った200キロワットの弊社の太陽光発電所は雪国であるけど一年間で22万7000キロワットと太平洋側に負けない発電をしている。これは降雪に備え可動式の架台にしたこともあるが、一番の理由は、新潟県では冬は雪のため発電量が落ちるが春から夏にかけては太平洋側より晴天の日が多く、一年間の日射量は太平洋側と変わらないということによるものである。

このように色々な方法で企業として二酸化炭素削減に積極的に取り組む、微力ではあるかもしれないが地球温暖化防止に貢献しようとしている。今後も、当社の環境方針として掲げている「地球環境と、人類の健康を守る企業」を実現させるべく更にいろいろ取り組んで行きたい。

外山晴一社長が率いる「外山工業グループ」のホームページをご覧ください。

地球環境と、人類の健康を守る企業  
温暖化防止に貢献する外山工業グループ

動物・生物界では強い者が弱い者を食い殺す社会である。強者にご機嫌取りもできないし、応戦する武器も自らの身体以外にはない。その代わり弱者ほど種を保存する為に数多くの子孫、卵、子を産む。逆に強い動物・人間などは生涯ほぼ1ヶタ以内しか産まない。



それにしても神様がコントロールしたかの如く自然界はうまくできている。近年、王者人間様は生態系などと称して他の動物にまで、種の保存に神経を使うほどの余裕を持ちだした。同時に自らの生存の為に他の生物の繁殖にまで関与し始めた。これを養殖などとうそぶく。人間が腹をすかさないために生物をまるで

## 弱肉強食と不平等な資本主義

東京 江東区 三田 栄考

機械のように生ませ育て、旬に食う。驚くべきことに、より美味い食物になるように加工する。

人間界は文明の名において人間性とか称して中世以降徐々に腕力をむき出しにするのを抑えるようになった。知恵あるものが武器や兵器を作り腕力以外で勝負を決するようになった。今では人間界の勝負は腕力以外の要素が大きい。知恵であり、資力であり、知識であり、身分や家柄、学歴、能力等々。時には容貌や健康、気力なども大きな力となる。他方、人間は他の動物に対してはその圧倒的有利性を謙虚に譲る気配はない。相変わらず知恵と知識を総動員して気ままに他の動物・生物の命をいとも簡単に自由に絶つたり、生かしたりする。

### 幸福は人間のみ享受

人間は動物界みたいに露骨

に食らうようなことはない。

奴隷制は悪となり、腕力や権力で弱者を虐げることは非人間的とみなされるようになってきた。植民地から搾取するのは無理になってきた。勿

論、世界では地域と国によって不均衡発展があるが。しかし、かつてはムチや武器で弱者から強引に搾り取っていたのを、高度で上品なやり方にした。資本とかパテントとか商品とかブランドとか、或いは文明の利器のコンピュータや情報とかを駆使して、巧みに弱者から発展途上国から利益を吸い取るようになった。科学が飛躍的に発展したので、弱者からの収奪は遥かに効率よく巧みになっており、論理的には糾弾しがたくなっている。

動物には幸福という概念はななくただ本能に基づいて生きているだけだろう。だったら文明を生み出した人間界は、生物の代表として人権も人間性も民主も自由も平等も平和

も徹底できないものか。資本主義とはその本来の機能は誰でもが能力・力量に応じて自由な経済活動をしてよろしいという制度である。強きを助け弱きをくじく制度だから、

ほっといたらどんどん不平等が拡大するので、国家の力で補正しているわけだ。せめて高度の知能を有する人間くらいは、強い者勝ちの世界から脱却したいものである。

### 憲法9条は輝く

追悼 土井たか子さん(86)

昨年11月20日に逝かれた「土井たか子さんお別れ会」が12月9日、地元の西宮市であった。会場では、ビデオでありし日のおたかさんの熱唱やトークが映し出され、故人



を偲んだ。メリハリのきいた歌よし、トークよし。

福島瑞穂社民党副党首は、「社会党委員長土井さんは89消費税導入案に『ダメなものはダメ』と反対し、89リクルート問題では『山が動いた』と、社会党の大躍進をもたらした。頭が下がる」とお別れの言葉を述べ、服部良一・社民党大阪連合代表は、

「私たちは9条改悪は許さない。土井さん、見守ってください」と続いた。

社会党委員長退任時、土井さんはロバート・フロストの詩の一節を引用された。

森は美しく、暗くて深い。だが、わたしには約束の仕事がある、

眠るまでにはまだ幾マイル  
行かねばならぬ、  
眠るまでにはまだ幾マイル  
行かねばならぬ。

いま、動いた山は逆戻りし、さらに重く、大きくなった。私たちは、おたかさんの遺志をつぎ、その山を切り拓くことを誓い、お別れの言葉といえます。

おたかさん、ありがとう。  
ゆっくりお休みください。



# 上海在住日本人見聞録(2)

## 日本人太太さん

タイタイ

吉松景子



上海虹橋駅新幹線コンコース。数年で巨大な駅を造れるのは独裁国家ならではの。しかし飛行場と隣接して便利で明るくてきれいです

私にとって初めての上海の夏……。それは日々、湿気に悩まされる毎日であった。築70年ほどの古いマンション「老房子」は、住居の雰囲気はい

いものの、あちらこちらにガタがきており、天井からの水漏れやカビに侵食されてしまった壁の塗替えなど、修理が絶えない毎日であった。現

在は、修理の甲斐もあって、カラッとした過ごしやすい上海を楽しんでいる。

さて、前は、日本にいる日本人と上海にいる日本人の生活スタイルは微妙に違うことをお伝えした。今回はその続編。駐在員の奥さん達、いわゆる「日本人の太太さん（中国語で「奥さん」）の実態。（私もそうなんだが……）なんとこれも上海は海外で生活する日本人がNYを抜いて一番多い都市ですし、いまや、日本人の生活・仕事は中国なくしては考えられない時代ですから互いにまず知り合わねばいけませんからね。

### 上海の日本人は ブログで上海情報入手

日本人駐在家族の多くは、ネットや衛星放送を使って日本の民放を家庭でリアルタイムで見ることができ。なので、日本と住んでいるのと全く変わらず日本の情報を手に入れることができる。では、上海の情報はどうやって手に入るのか？簡単に察しがつくかもしれないが、ほぼ全ての情報源は他人の「ブログ」

なのだ。太太さんの中には、上海ではちょっとした有名ブロガーみたいな人がいて、毎日新しくオープンしたショッパや、美味しいレストランを紹介している。そこに他の太太さん達がこぞって出かけていく。それをまたブログに書く……。という風に情報が拡散する。私が上海に来た当初、太太さん達から教えてもらった、子連れでも安心のレストランや、オーダーメイドで作るカバン屋さんなどは、本当に皆知っているし、実際そのカバンは皆持っていた……。

さらに、有名素人ブロガーだけではなく、日本人向けの安心できる食材を売るスーパーも毎日のブログとメニューリストのみでお客を囲い、公式HPやお店の看板さえ存在しない……。そう、上海における日本人生活は「口コミ」が最大のマーケティングツールなのである。

### 同じ店で食べそして買う 最初はギョウツの上海生活

上海に来た当初は、太太さん達がみんな同じ店でギョウツピングして、みんな同じ場所

でご飯食べて……。と、何だかギョウツと濃縮した日本人の特徴を見ているようで恐ろしさを感じたが、それはそれで仕方がないことかもしれない。日本の情報からあふれだす、中国の食の安全問題、日中関係の悪化、それに加えて、日に進む円安元高……。中国にまわりつくマイナスイラの中でも何とか生活し、安全に生きていくために、人によりよい情報を手に入れなければならぬのである。なりふりなんか構ってられない。

もちろん、太太さんの中にも全く違うタイプもいる。多くの太太さんが1年そこそこで中国語の勉強にサヨナラを告げるが、ある人は2〜3年で中国語の普通語をほぼマスターし、次は上海方言を！と日々自分の語学の向上に余念がない。私は大学時代、1年弱の中国留学を経験したにもかかわらず、中国語のレベルは停滞気味……。これからは続く上海生活の中で、せめて語学レベルを上げて、もう少しダイープな上海事情をお伝えできるように観察眼を身につけたい。

## 関ヶ原の

## 裏切り者小早川秀秋

東京 原野 通有

美濃の国、関ヶ原町で9月28日、合戦の第5回陣所ウォーキング6時間制覇コースを歩いた。秀秋は合戦の前日1600年9月14日に病氣と称して近江で日和見していたのをやっと戦場に着いたが、勝手に標高293mの松尾山に登ってしまった。私も麓から50分ほどかけて頂上に登った。現代は観光用に少し道路が整備されているが、いかに降り坂とはいえ重い鎧兜を付けて駆け下りるのは並大抵でない。いや馬はとも駆け下りられないだろう。ましてや1万5千の兵が一齐に下りれるはずがない。人間は一箇所に固まるとその場所を取らないが、列となると長蛇になる。ましてやあんな山中を重装備で雪崩を打って西軍の側背に殺到できないし、順番に下ると待受けていた大谷刑部

隊にやられたのではないかと思う。多分実戦では大半の小早川隊は麓にあって待機していて頂上には本陣のみではなかったか？あんな山中に大兵が駐屯できる訳がない。そう言えば中々裏切らない秀秋に家康は10丁の鉄砲で脅しに射掛けたというが、木が覆い茂る麓からでは山頂では合戦の声に消されて銃声が聞こえることはない。とても見えるものではないし、18歳の若僧でも肝を冷やすことはないだろう。まあ後世の史家が家康の決断力だと誉めそやす為に威嚇と督促の一斉射撃をでっちあげたのではないか。ウソだと思ふなら1度笹尾山に登って自分が実際に西軍を裏切る戦いを想定してもらいたい。同じく内応した脇坂の陣には下りていけるが、今では西軍への道は大きく迂回して



1600年9月15日関ヶ原の陣形。松尾山頂に陣地図を置くから総勢が登ったように勘違いする

1時間もかけないと大谷隊へはたどり着けない。400年前の戦いに参加した人が正確に書き残してくれなかったのか？

運命にもてあそばれた  
小早川秀秋

この人は秀吉の正妻ねねの実兄木下家定の五男で秀吉の

養子に迎えられ、可愛がられて中納言にまでなったが、実子秀頼の誕生でお払い箱になり毛利輝元の養子に入れられそうになった。分家の小早川隆景が本家に他家の血が入るのを嫌って秀吉に請うて養子にもらい受けた。2年後、関白秀次の謀反容疑に連座して丹波の所領を没収されたが、隆景が隠居することによって

今の福岡市の名島城に拠って筑前、筑後を領す。朝鮮侵略の慶長の役には16歳ながら総大将として渡ったが、敵地の軽挙妄動をとがめられ越前北ノ庄12万石に格下げされてしまい、そのまま秀吉の死を迎える。狡知な家康は自派固めにどさくさに紛れて名島35万石に復帰させて恩を売る。秀秋の本心は知らないが、ぐずぐずするうちに秀吉一族というところで西軍に加わってしまう。三成からは関白職を餌に味方に付けと誘われる。家康からは上方で二カ国をと黒田長政経由で誘われ、人質まで出しており旗本の奥田貞治(戦死)を軍監として受け入れている。

しかし、戦後備前岡山(皮肉にも西軍の副将格で同じく秀吉の養子でもあった宇喜多秀家の旧領)で51万石を与えられたが、2年後に病死してお家は断絶。裏切り者に明日はない。狂死とも。

尚、小早川隊の武將で先鋒を務めた松野重元は「盾裏の反逆は武士としてあるまじき事」として戦場を離脱した武士もいたことも記しておこう。

## 首都を横切る国境——南北キプロスを訪ねて

大阪市中央区  
馬場 正雄

トルコの南80キロに浮かぶキプロスは四国の半分の小島だ。ギリシャ、東ローマ帝国、ベネツィア共和国の支配を受けた。首都ニコシアは北京のかつての城壁に匹敵する壁が周囲4.8kmもあって、旧市街として殆ど現存している。1572年オスマントルコ軍に壁が破られ降って以来300年、次に英国の植民地となり1960年に独立したが、今も英軍の基地は残されている。

### トルコだけが承認した国

キプロスにはギリシャ人が南側に住みつき、北側は隣の大国トルコが移住



北キプロスでは自国の国旗とトルコの旗が常に並ぶ

物 20m 歩くと北に 至る。こゝ でパスポートと簡単な書類を書いて北キプロスに入る と、国力の なさという か貧しさが 目につく。

してきた。独立後はジェニス運動と称して、一国そのままギリシャに帰属させようとの運動が起こった。危機感を抱いたトルコは1974年に北側39%を占領、1983年にトルコ・キプロス共和国として独立を宣言したが、トルコを除くどの国からも現在に至るまで承認されていない。極めて異状な国家だ。2004年以降、両国の交流が緩和され自由に往来できるが、東西に長い国境線を国連が管理している。

旧市街のメインストリート、メライーの繁華街を北に歩くと、北側とのクロスポイントに出くわす。南からの出国はノーチエックだが、廃墟の建

ここかしこには今は主なき家屋が 残されている。南のラルナカ市 からタクシーをチャーターして 北のキレニア市の海に面した城 砦などを見る。

沖にはトルコ軍艦が2隻。そ ういえば町の至る所、赤字に星 のトルコ国旗と並べて白地に星 の北キプロス国旗を見た。両国 の親密さのアピールとも、トル コなくして存在できない国の証 ともとれる。南北ともにニコシ アを首都としていて、市内で随 所に壁や丸い有刺鉄線、廃屋が 国境を実感させる。

ギリシャ系の運転手は北の ファマグスタ港町に住んでいたが南の ラルナカに移住させられたそうだ。彼 の名刺にはキプロスの地図に北が赤く 表示され「NEVER FORGET」と あった。南にすると39%の国土はトル コ人に今も占領されているわけだ。

### 教会はモスクに改修

トルコはイスラム、ギリシャはギリ シャ正教。カソリックではないと強調 されたが、教会はケバケバしく黄金の イコンの聖母子像などが飾られてい る。北ニコシアにかつてのセミナリオ 教会がモスクに改修され取ってつけた ように説教壇や祈祷所があるが、造り は完全に教会だ。

異教徒の教会をそのままモスクにす



左に国境の検問所のある道路が上下に通じている。 左右に国境の有刺鉄線の民家など

るのは安上がりだろうが、観光に訪れ る西洋人はどう思っているのか。首都 ニコシアの南にもモスクがあり多くは パキスタンなどからの出稼ぎ者で、完 全に寝ころばっている者も。女性は と探すと近くに別なモスクがあった。 日曜日には盛り場にアジア系の顔が目 立つ。同郷者と買い物や息抜きに来て いる。夕方になると郊外へのバスター ミナルが集まる。キプロスにとっては 安い労働力供給源なのだろう。その国 に西洋人が大挙してリゾートに来る。 顔がピンクかかったロシア人が多いの は国が近いせいだ。各所に青白のロシ ア旗が目立ちホテルでの旅行者は圧倒 的にロシア語。ロシアも豊かになった のかな？

## 私が愛した街 12回

紀州田辺たなべ

## —心地よい潮風の戦ぎ—

紀州和歌山は多様な国である。蜜柑の国でもあり、木の国とも知られ、気の強い女の国とも言えるようだ。和歌山出身の作家有吉佐和子は、『華岡青洲の妻』を著し、気の強い女性達を描いた。男は、女の気の強さを盾に、息を潜めているのかも知れない。和歌山は海の国とも言える。北から南まで海に接し、田辺市は、そのほぼ中央に位置する。市の合併で、山間まで広域化されたが、紀北の和歌山市と佐藤春夫出身の紀南の新宮市との間に位置し、温泉で有名な白浜に隣接し、商業都市として栄えた。大坂や和歌山との間の商流が、海の水運に助けられた。



闘鶏神社 (田辺市観光課H/Pより)



天神崎 (元島) (田辺市観光課H/Pより)

柱に据えた。直次は、田辺石の城主となり、田辺を城下町として整備した。直次は誠忠強諫の人として知

田辺は、熊野古道の入り口として知られるが、武蔵坊弁慶が誕生した地であり、熊野水軍の拠点ともなった。市内に、闘鶏神社がある。源平への協力を求められた熊野水軍が、どちらかに味方するかを決める為に、弁慶の父熊野別当湛増が、紅白夫々7羽の鶏を闘わせた逸話が、闘鶏神社の由来となったが、闘鶏の結果、源氏に味方し、源氏を壇ノ浦の勝利へ導いた。闘鶏が、鎌倉幕府誕生に一役買った事は、余り知られていない、歴史の隠された一齣だ。家康は、10男頼宣を、浅野氏に変えて和歌山に配したが、安藤帯刀直次を付け家老として、紀州徳川家の

られ、紀州徳川家では一目も二目も置かれる存在で、山本周五郎は『正雪記』で、楠木流の兵学を講じる由比正雪が、直次に手厳しく遣り込められる場面を描いている。田辺が商業都市として発展したのも、直次の力によると云われているが、今でも、上屋敷町、中屋敷町、下屋敷町等、城下町の名残を残している。

和食が注目を集めているが、味の基本となる材料は、北海道の昆布を除けば、全て和歌山と縁が深い。田辺より北に湯浅が有り、金山寺味噌が有名だが、醤油の発生の地であり、南部は梅の産地だ。更に、黒潮が鰹を運び、鰹節なしには、和食は存在しない。田辺も食と関係が深い。備長炭の発生の地であり、蒲鉾をお崩しと呼び、南蛮焼きや牛蒡巻きは、相変わらず人気の高

い伝統的な商品だ。

田辺は、優秀な学者を輩出した。地質学者小川琢治は田辺生まれだが、4人の息子も学者となった。長男芳樹は冶金、次男茂樹(貝塚)は東洋・中国史、三男秀樹(湯川)は物理、4男環樹は中国文学の夫々の分野の泰斗だ。元東京大学教授で経済学者の脇村義太郎も田辺出身だった。博覧強記で知られる民俗学・粘菌学の南方熊楠も死亡する1941年まで40年近く田辺で生活し、粘菌の採集を続けた。熊楠の心を映した天神崎保護運動は、ナシヨナルトラスト運動の先駆けとなり、海辺の自然が守られた。浜辺には潮風が戦ぎ、磯と歴史の香りが、そこはかたく漂って来る。

市川隼(鎌倉市在住)

## 編集後記

乱れ打ちかわら版は40号を機に誌面と誌名を改めてみるようになった。思えば活字文明を継承し社会の木鐸にならんと始めて15年、これだけ続けられるとは思わなかった。皆さんに感謝。

しかし、世間からの反応の小ささと広がりなさも予想外、いや、予想通りとの声もある。今後は更に忌憚のない意見・観点を声挙げていきましよう。新しい誌名「クロスイング」——

多様な意味を持つ言葉だと送り出しま

した。出会い、交差点、交わり、一瞬の交錯、踏切、雑踏。馴染んだ、乱れ打ちかわら版はネット用には暫く残します。

『安倍の身勝手解散』の結果が出ました。小誌は権力者や強き者を、諫める立場で発言を続けていきたい。そして人類の平和と生物の幸せを求めたい。何億万年の地上の期間を思えば儂い人生でもあるが、個々の生物にとってはかけがえのない生命。尊重して生きていきたいものです。

## 恭子の日記

### 人生の長いくさり

自分に孫ができ「おばあちゃん」になったからか、近頃はよく私の「おばあちゃん」のことを思い出す。若い時はまだ自分が何ものかわからず、思いが通らないと怒ったり、人生を儚んだり、いっそ死んだ方が楽だとか思い詰めたり……。だけど「子どもを育てて子育てほど思い

通りにならないことはない」と初めてわかった。

わが分身は自分と同じようにつまずき悩む。わが子を理解しようとは忙しくなった。二人の間の子を理解する一番の方法は、二人で話し合うことだ。未熟な思春期を思い出し語り合ううちに子を理解する糸口が何とか見つかる。何千回、気が遠くなるほどの話し合いの末、なんとか三人大人にした。

近頃は反対に子どもに健康を気づかわれるようになりやれやれとホッとひと息つく間

もなく孫が生まれてきた。孫を理解する苦労と責任は子どもに任せることにした。

思春期の頃は自分で自分の未熟さをもて余し、父母には甘えてかわいくない態度をとっていたと思う。おとうさん、おかあさん、本当にごめんさい。そんな私もおばあちゃんにだけは素直に尊敬をもつて教えることができた。

父母が年寄りを尊ぶことを教え、一番立派な教育を受けることができたと思っている。おばあちゃんはいつてもやさ

しく笑っていた。「こうしなさい」「ああしなさい」とは一言も言わなかった。「失敗したの」と言うと「良かったね。一つ大人になれたね」と頭をなでた。いつもプラスの人だった。未熟な私は自分の子が落ちこむと一緒に落ちこみ、怒ると同じレベルに降りて喧嘩もした。

私もおばあちゃんになったので、おばあちゃんのようにプラスの心で平穏な家族を支える一本の柱でありたい。なれるかしら。いや、なれるよう努力をしよう。人生は先祖

からつながり子孫につながれていくくさり。決して自分一人のものではないと近頃よく思う。

ちなみに今秋フランスのユネスコ本部の平和展に飾られた私の絵は「未来へ」という絵で、ミロの壁画の横の一番いい場所に飾られていた。天より改めて「未来の平和を考える」宿題が出ているのかも知れない。

### 中田恭子さん略歴



「日本の美術全国選抜作家展」人気アーティスト  
賞連続受賞 / エジプト、ジャスミン革命中

に「日本×エジプト国際交流美術展」に出展 / 「国際平和美術展二〇一一年名古屋」・「国際平和美術展二〇一一年inナイロビ国立博物館」・二〇一二年世界芸術競技inロンドンではクリスタルメダル受賞・二〇一三年シェーンブルン宮殿の「ネオジャポニズムinウィーン」など世界的にも幅広く活動する仏画家（画柳会理事）。

### 「昇り龍」

新しい年は昇り龍に乗って舞い上がり幸せになりましょう。  
(中田恭子さん談)

